

第361回三木市議会定例会 市長 閉会あいさつ

令和2年12月23日

閉会に当たりまして、ごあいさつを申し上げます。

まず、はじめに、12月11日、兵庫県の井戸知事が、来年7月の任期満了をもって今期限りで退任されることを表明されました。

私にとっては尊敬すべき知事であり、兵庫県議会議員として10年間、市長として約4年、大変お世話になりました。とりわけ、市長就任後、県に対する本市の要望に対しまして、常に市町の立場に寄り添った丁寧な対応をいただいたところです。

20年にわたり県政をけん引してこられたご功績に、この場をお借りしまして敬意を表しますとともに、改めて感謝を申し上げます。

さて、このたびの市議会定例会におきましては、11月30日の開会以来、24日間にわたり、条例改正等や指定管理者の指定、各会計補正予算など多数の重要案件について、ご審議を

いただきました。

この間、議員の皆さまにおかれましては、終始ご精励を賜り、本会議並びに各常任委員会において、それぞれ慎重なるご審議を尽くされましたことに対しまして、心から敬意を表する次第です。

このたび成立した一般会計補正予算により、新型コロナウイルス感染症に対する市独自の事業として、国の特別定額給付金10万円の支給対象とならない令和2年4月28日から令和3年3月31日までに生まれた新生児世帯に対し、新生児特別定額給付金10万円を支給いたします。

この事業につきましては、9月議会で議員提案いただいた議員の12月期末手当30%削減分の財源を活用させていただきます。議員各位のご尽力に敬意と感謝を申し上げます。

また、12月4日に菅内閣総理大臣の記者会見により、コロナ禍で特に仕事と子育てに困難を抱えているひとり親家庭に、再度5万円の支援金を年内に支給することが表明されました。

日程的に非常に厳しい状況ではありましたが、三木市内の対象世帯に対し年内支給が可能となるよう、閣議決定がなされた11日に急ぎよ補正予算を追加し、上程させていただきました。

この「ひとり親世帯臨時特別給付金」事業の現在の進捗状況

につきましては、既に金融機関への振込手続きを完了しており、全対象世帯に対し、明日24日にはご指定の口座へ振り込むことができる見込みとなっております。

これにつきましても、迅速にご議決を賜りましたことに対し、感謝を申し上げます。

なお、このたびの一般会計補正予算中、デマンド型交通の予約運行システムの構築等に要する経費540万円が減額修正されました。

このことにつきましては、本会議並びに常任委員会においてご指摘いただいたとおり、デマンド型交通の導入自体に反対するものではなく、その予約運行に係る経費について、真に必要なものを精査、積算するようにとのことであったと受け止めております。

このたびのご決定の趣旨を十分に尊重し、市内で初となるデマンド型交通の導入が成功できますよう、また、吉川地域において、よかたんバスに替わる公共交通が空白となる事態を生じさせないようにスケジュールを見直し、来年4月からの導入に向け、年明け早々にも再度のご審議を賜りたく、補正予算の上程を考えておりますので、よろしく願いいたします。

さて、依然として猛威を振るう新型コロナウイルス感染症につきまして、兵庫県内では、1週間平均で1日100人を超える新規感染の発生が続いています。三木市におきましても、先日18日に、三木市立デイサービスセンター口吉川の利用者1名の陽性が確認されました。

この対応として、14日以降に当該施設を訪れた利用者57人と全職員26人に対し、翌日19日にPCR検査を実施し、すべての方が陰性であったことを兵庫県加東健康福祉事務所から確認をとっております。

これから年末年始へと気忙しい日々が続きますが、市民の皆さまにおかれましては、今一度、感染防止のための3つの基本、いわゆる「マスクの着用」、「こまめな手洗い」、「身体的距離の確保」を実践いただき、一人ひとりが「うつらない・うつさない」という強い意志で取り組んでいただきますよう、ご協力をお願いいたします。

年の瀬もいよいよ押し迫り、本年も余すところあとわずかとなりましたが、議員の皆さま、市民の皆さまには、健やかなる新年をご家族お揃いでお迎えになられることをご祈念申し上げ、

閉会のあいさつといたします。

ありがとうございました。